

農業分野の体系図

分野の目指す姿	地域で暮らし稼げる農業	
分野を代表する目標	農業産出額等（飼料用米交付金含む）	現状（H30）：1,177億円 ⇒ 4年後（R5）：1,221億円 ⇒ 10年後（R11）：1,285億円
	農業生産量 野菜（主要11品目）	現状（H30） 12.6万t ⇒ 4年後（R5） 13.6万t ⇒ 10年後（R11） 15.0万t
	果樹（主要2品目）	現状（H30） 2.38万t ⇒ 4年後（R5） 2.45万t ⇒ 10年後（R11） 2.60万t
	花き（主要3品目）	現状（H30） 2,019万本 ⇒ 4年後（R5） 2,020万本 ⇒ 10年後（R11） 2,077万本
	畜産（土佐あかうし飼養頭数）	現状（H30） 2,399頭 ⇒ 4年後（R5） 3,725頭 ⇒ 10年後（R11） 4,039頭

戦略の柱	1 生産力の向上と高付加価値化による産地の強化	2 中山間地域の農業を支える仕組みの再構築	3 流通・販売の支援強化	4 多様な担い手の確保・育成	5 農業全体を下支えする基盤整備の推進と農地の確保
戦略の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 環境制御等に最先端のデジタル技術を融合させた新たな技術の積極的な展開、生産性の高い施設の整備や更新により、生産力を高める 安全・安心して高品質な生産につながるIPM技術等の更なる普及により、消費地に選ばれる産地を形成する 地域の特性を活かした高品質な米や畜産などの生産を強化することで、農産物の付加価値を高める 	<ul style="list-style-type: none"> 集落営農組織等の具内への拡大や経営の安定を図るとともに、組織間の連携や地域の中核組織の育成により、地域の農業を面的に支える仕組みづくりを推進する 中山間地域の産地の維持・拡大に向けて、スマート農業の導入を推進する 	<ul style="list-style-type: none"> 市場流通と直接取引等多様な流通の販売拡大に取り組むとともに、県産農畜産物の総合的なPRの展開により外商を拡大する 輸出の拡大に向けて、ユズに次ぐ有望品目の海外需要の拡大を図るとともに、新たなマーケットの開拓と輸出に取り組む産地の強化を推進する 	<ul style="list-style-type: none"> 生産を強化し、拡大再生産を実現するために必要な、産地が求める担い手の確保・育成と労働力の確保を図る 家族経営体の持続的発展や法人化の推進などにより、強い経営体を育成する 	<ul style="list-style-type: none"> 地形条件や地域ニーズに応じたほ場整備を推進し、優良農地の確保を図る 農業経営の効率化や規模拡大を図る担い手や新規就農者などへ、農地中間管理機構などを通じて農地の集積・集約を図る
戦略目標	<ul style="list-style-type: none"> ○Next次世代型こうち新施設園芸システムの普及推進 <ul style="list-style-type: none"> ・野菜主要7品目の出荷量（年間） <ul style="list-style-type: none"> ⑩：10.0万t ⇒ ⑤：11.0万t ⇒ ①：12.4万t ・次世代型ハウスの整備面積（H27以降累計） <ul style="list-style-type: none"> ⑩：46ha ⇒ ⑤：120ha ⇒ ①：210ha ・施設園芸関係機器・システムの販売額（H30以降累計） <ul style="list-style-type: none"> ⑩：2.6億円 ⇒ ⑤：33.2億円 ⇒ ①：133.4億円 ○IPM技術（病害版）の普及拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・野菜主要6品目の防除面積率（累計） <ul style="list-style-type: none"> ⑩：31% ⇒ ⑤：47% ⇒ ①：77% 	<ul style="list-style-type: none"> ○集落営農組織等の新規設立数（累計） <ul style="list-style-type: none"> ⑩：— ⇒ ⑤：40組織 ⇒ ①：100組織 【参考】集落営農組織等の数（H30）：241 ○集落営農組織等の法人数（累計） <ul style="list-style-type: none"> ⑩：45 ⇒ ⑤：69 ⇒ ①：93 ○地域農業戦略の策定数（累計） <ul style="list-style-type: none"> ⑩：— ⇒ ⑤：17 ⇒ ①：35 ○スマート農業の実装面積 <ul style="list-style-type: none"> ・ドローン防除（ha/品目数）（累計） <ul style="list-style-type: none"> ⑩：66/1 ⇒ ⑤：915/7 ⇒ ①：2,010/10 	<ul style="list-style-type: none"> ○市場流通で開拓した取引先との販売額（年間） <ul style="list-style-type: none"> ⑩：7.5億円 ⇒ ⑤：15億円 ⇒ ①：30億円 ○直接取引等多様な流通による外商額（年間） <ul style="list-style-type: none"> ⑩：—億円 ⇒ ⑤：8億円 ⇒ ①：15億円 ○農畜産物の輸出額（年間） <ul style="list-style-type: none"> ⑩：4.0億円 ⇒ ⑤：8.6億円 ⇒ ①：12.6億円 	<ul style="list-style-type: none"> ○新規就農者数（年間） <ul style="list-style-type: none"> ⑩：271人 ⇒ ⑤：320人 ⇒ ①：320人 ○農業法人数（累計） （農地の権利を取得し農業経営を行う法人） <ul style="list-style-type: none"> ⑩：206 ⇒ ⑤：445 ⇒ ①：649 	<ul style="list-style-type: none"> ○ほ場整備率（累計） <ul style="list-style-type: none"> ⑩：48.7% ⇒ ⑤：50.0% ⇒ ①：52.6% ※ほ場整備の実施面積（累計） <ul style="list-style-type: none"> ⑩：— ⇒ ⑤：239ha ⇒ ①：761ha ○新規ほ場整備農地の担い手への集積率（累計） <ul style="list-style-type: none"> ⑩：— ⇒ ⑤：35% ⇒ ①：75%
取組方針・主な「具体的な取り組み」	<ul style="list-style-type: none"> （1）Next次世代型こうち新施設園芸システムの普及推進 <ul style="list-style-type: none"> ◆【拡充】Next次世代型こうち新施設園芸システムの開発と普及 ◆次世代型施設園芸の普及推進 ◆環境制御技術のレベルアップと省力化技術の開発 ◆学び教えあう場の活用による環境制御技術の普及 ◆地元と協働した企業の農業参入の推進 （2）環境保全型農業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ◆IPM技術の普及拡大 ◆GAPの推進 ◆有機農業の推進 （3）園芸品目別総合支援 <ul style="list-style-type: none"> ◆園芸品目別総合支援 ◆特産果樹生産振興（ユズ、文旦） ◆花き生産振興（1リ、トクギキョウ、ゲリサ） （4）水田農業の振興 <ul style="list-style-type: none"> ◆酒米の生産振興 ◆水田の有効活用に向けた有望品目への転換 （5）畜産の振興 <ul style="list-style-type: none"> ◆【新規】土佐あかうしのブランド化の推進 ◆【拡充】肉用牛、養豚の生産基盤強化と生産性向上 ◆土佐ジロー、土佐はちきん地鶏の生産と加工販売体制の強化 ◆食肉センターの整備 ◆次世代こうち新畜産システムの確立と普及 	<ul style="list-style-type: none"> （1）集落営農組織等の整備推進 <ul style="list-style-type: none"> ◆集落営農組織と中山間農業複合経営拠点の具内への拡大 （2）集落営農組織等の法人化の推進と経営発展への支援 <ul style="list-style-type: none"> ◆集落営農組織等の事業戦略の策定・実行支援 （3）組織間連携の推進と地域の中核組織の育成 <ul style="list-style-type: none"> ◆【拡充】地域農業戦略の策定・実行支援 （4）スマート農業の普及推進 <ul style="list-style-type: none"> ◆【拡充】スマート農業の実証と実装支援 （5）中山間に適した農産物等の生産 <ul style="list-style-type: none"> ◆土佐茶の生産振興 ◆園芸品目別総合支援（再掲） （6）6次産業化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ◆新規事業者の掘り起こしと売れる商品づくり 	<ul style="list-style-type: none"> （1）「園芸王国高知」を支える市場流通のさらなる発展 <ul style="list-style-type: none"> ◆【拡充】地域別戦略による卸売市場と連携した販売拡大 ◆産地を支える集出荷システム構築への支援 （2）直接取引等多様な流通の強化 <ul style="list-style-type: none"> ◆【拡充】「とさのさと」を活用した県産農産物の地産外商の強化 ◆【新規】園芸品・米・茶・畜産物のブランド力の強化と総合的な販売PR （3）農畜産物のさらなる輸出拡大 <ul style="list-style-type: none"> ◆【拡充】県産農畜産物の海外需要拡大 ◆【新規】輸出に取り組む産地の強化 	<ul style="list-style-type: none"> （1）新規就農者の確保・育成 <ul style="list-style-type: none"> ◆【拡充】産地での担い手確保に向けた取り組みの強化 ◆畜産の担い手確保に向けた体制の強化 ◆雇用就農者の確保に向けた取り組みの強化 ◆【拡充】農業の担い手確保に向けた研修体制の強化 （2）労働力の確保 <ul style="list-style-type: none"> ◆【拡充】JA無料職業紹介所と連携した労働力の確保 ◆【拡充】農福連携の推進 ◆外国人材の受け入れ支援 （3）家族経営体の強化及び法人経営体の育成 <ul style="list-style-type: none"> ◆家族経営体の経営発展に向けた支援 ◆法人経営体への誘導と経営発展への支援 	<ul style="list-style-type: none"> （1）基盤整備の推進 <ul style="list-style-type: none"> ◆【新規】地域ニーズの把握とほ場整備の実施に向けた地域の合意形成の支援 ◆【新規】地形条件や地域ニーズに応じたほ場整備の実施（国庫補助事業等の活用） （2）農地の確保 <ul style="list-style-type: none"> ◆【拡充】担い手への農地集積の加速化 ◆園芸団地の整備促進 （3）日本型直接支払制度の推進 <ul style="list-style-type: none"> ◆中山間地域等直接支払制度の推進 ◆多面的機能支払制度の推進